



団体紹介

女性に寄り添う。命に寄り添う。ヨノナカがちょっと良くなる。



福岡県出身の野口和恵さんが代表を務める「NPO法人きびる」は、2021年3月に群馬県高崎市に誕生しました。

活動は、母親一人一人の妊娠・出産・子育てにおける心身等の様々な負担を軽減し、母子が健やかに暮らしていくための支援を行っています。

「きびる」とは、福岡の方言で「結び付く」を意味するそうです。その言葉のとおり、活動を支えるメンバーは、助産師、看護師の他、教員、経営者、弁護士等で構成され、看護学生や助産学生、保育学生など多くの方々が結び付き、活躍しています。

インタビュー 代表・野口和恵さん

女性の一生をサポートする支援”を目指して

今の日本は、SNSなどでよい情報を取得できる一方、偏った情報に流されることも多く、子育てにおいて、悩み苦しむお母さんが増えているのではないかと思います。

さらに、貧困・社会的孤立、個人の価値観や社会構造の変化などで、妊娠・出産・子育てをめぐる不安は増すばかりです。

そんな中で必要なのは、あれこれ先回りして思い悩むことなく、お母さんや赤ちゃんが主体となって「さずかり・はぐくみ・うみ・そだてる」を丸ごと受け止め、張り詰めた心を和らげて、ほんわかした気持ちになれるように支えていける、そんな存在になりたいと思います。



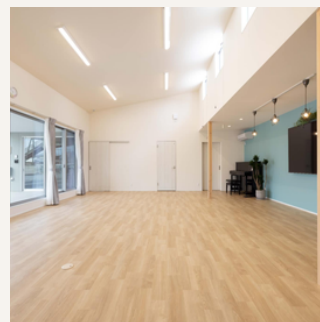
「きびるの家」

妊娠や出産、育児の不安を受止め、女性が孤立しないように！

2025年4月、高崎市中豊岡町に、子育て支援スペース「きびるの家」が開設されました。

野口さんが、これまでの活動を通じて感じたことは、妊娠・出産の正しい知識や情報がお母さんにしっかり伝わっていないこと。特に10代～20代の若い世代からの相談が多いこと。学校でも十分に教えてもらえず、周りにも相談できる人もいないという現実。

悩みを持った女性が孤立しないよう、リアルに相談、交流できる場所が必要だと考え、「きびるの家」を開設されました。きびるの家では、日々の相談のほか、奇数月の第三日曜にはイベントを開催するなどの取組みを予定されているそうです。訪ねてみると、「きびるの家」は、とても明るく開放感のある施設で、ほっと一息できる、そんな素敵な場所でした。



お問合せ等

相談したい。参加したい。協力したい。「NPO法人きびる」情報

NPO法人きびるさんでは、女性への様々なサポートに取り組まれています。最終的には、相談者が正しい知識を身に付け、自立していけることが大切だと話されていました。また、こうした活動にご理解いただき、賛同いただける個人、団体、企業の皆さんも随時募集されています。

詳しくは、NPO法人きびるさんのHPをご覧ください。

